



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

5月号

 北区立さくらだこども園
 園長 西澤 尚子

新しい出会い

4月の入園・進級から1ヶ月近くが経ちました。新しい学級の先生、友達、保育室の環境、生活の仕方にも少しずつ慣れ、気負って過ごしていた気持ちにも少し平常が戻ってきているように思います。平常の中には、「がんばりすぎなくてもいい」もありますし、「新しいことが普通のことになった」という様子もあります。

新入園児は「毎日、こども園に来るんだな」ということが分かってきた様子です。楽しみに登園する幼児も、朝の気持ちを泣いたりゆっくり行動したりして、表せるようになってきた幼児もいます。どんな形であっても思いを表せていることがよいことだと思います。その思いを受け止め、どの幼児もが安心して、また楽しく生活できるように、保育者は一人一人に関わります。保育者にとっても、4月は新たな出会いがあり、子どもたちとの新しい生活の始まりです。ドキドキわくわくする気持ちは、保育者も子どもたちと変わりません。ですが、保育者は毎年、新しい出会いを体験しているので、新しい出会いへの心構えも積み重ねてきています。

5歳児は、3人ずつのグループでこいのぼりを作りました。グループの友達と、体の色やうろこの形などを相談しながら作り上げたこいのぼりは、こども園の庭で元気に泳いでいます。他学年の子どもたちもその大きなこいのぼりをうれしそうに眺め、作った5歳児たちは保護者に、自分たちのこいのぼりを誇らしげに見せています。年長になって新しい学級の中での相談活動が、自分にも周りの人にとってもうれしいものになった経験は、きっと新しい出会いへの期待につながっていくと思います。

幼児にとっては毎日が新しいこととの出会いの連続かもしれません。こども園は保護者の皆様と一緒に、子どもたちのドキドキわくわくを見守り、支えていきます。保護者の皆様にもご心配があれば、いつでも園にご相談ください。

今月の指導のめあて

- < 3歳児 >
 - ・園生活の仕方を知り、安心して過ごす。
 - ・保育者に親しみをもち、一緒に遊んだり体を動かしたりすることを楽しむ。
 - ・身近な生き物や草花に興味をもち、見たり触れたりする。
- < 4歳児 >
 - ・安心する場や興味をもった遊びに、自分から関わって遊ぶことを楽しむ。
 - ・保育者や友達と一緒に遊んだり、学級みんなで過ごしたりする楽しさを感じる。
- < 5歳児 >
 - ・友達と関わる中で、自分の思いを表したり、友達の思いや考えをよく聞いたりしながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・思いきり体を動かす心地よさを感じながら、いろいろな動きを楽しむ。
 - ・野菜や花を植えたり、身近な植物を遊びに取り入れたりして自然に親しむ。

【健康診断について】

5月から6月にかけて、内科、耳鼻科、歯科、眼科の健康診断を行います。全科受診しませんと、プールには入れませんので体調を整え、受けられるようにしましょう。

欠席等の理由により、受診できなかった方は、後日受診していただきます。なお受診後、治療のお知らせを受け取った方は、早めに治療し、治癒証明を園にお出してください。

【衣替えについて】

6月から衣替えになりますが、夏服はありませんので、衣替え以降は、園服なし、園帽着用になります。ただ、5月中旬ごろから、暑い日もありますので、暑い日は、園服を着用しなくても構いません。